



栗田工業株式会社

2022年3月期 第3四半期
決算説明会

(証券コード：6370)

2022年2月1日

1	 	2022年3月期 第3四半期実績	p 1 -10
2	 	2022年3月期 通期見通し	p11-19
3	 	重点施策の進捗	p20-24

1 | 2022年3月期 第3四半期実績

(単位：億円)		2020/12期	2021/12期	前年同期比
受	注 高	1,874	2,188	+ 16.8%
売	上 高	1,980	2,112	+ 6.7%
事	業 利 益	216	252	+ 16.7%
そ	の 他 の 収 支	20	3	—
営	業 利 益	236	255	+ 8.1%
税	引 前 四 半 期 利 益	217	208	△ 4.1%
親	会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 四 半 期 利 益	147	120	△ 18.2%
基本的1株当たり四半期利益 (円)		130.89	107.08	—
為 替 レ ー ト	USD (円)	106.11	111.1	
	EUR (円)	122.38	130.6	
	CNY (円)	15.44	17.3	

- 中東とカナダの水処理薬品会社の新規連結に加え、電子産業向け水処理装置事業と海外の水処理薬品事業で受注高・売上高が増加。
- ペンタゴン・テクノロジーズ社の将来の株式取得見込み価格の現在価値が増加したことに伴い、金融費用46億円を計上。

注) 前期に新規連結したペンタゴン・テクノロジーズ社のPPA確定により、2021年3月期9ヵ月実績を遡及修正しています。

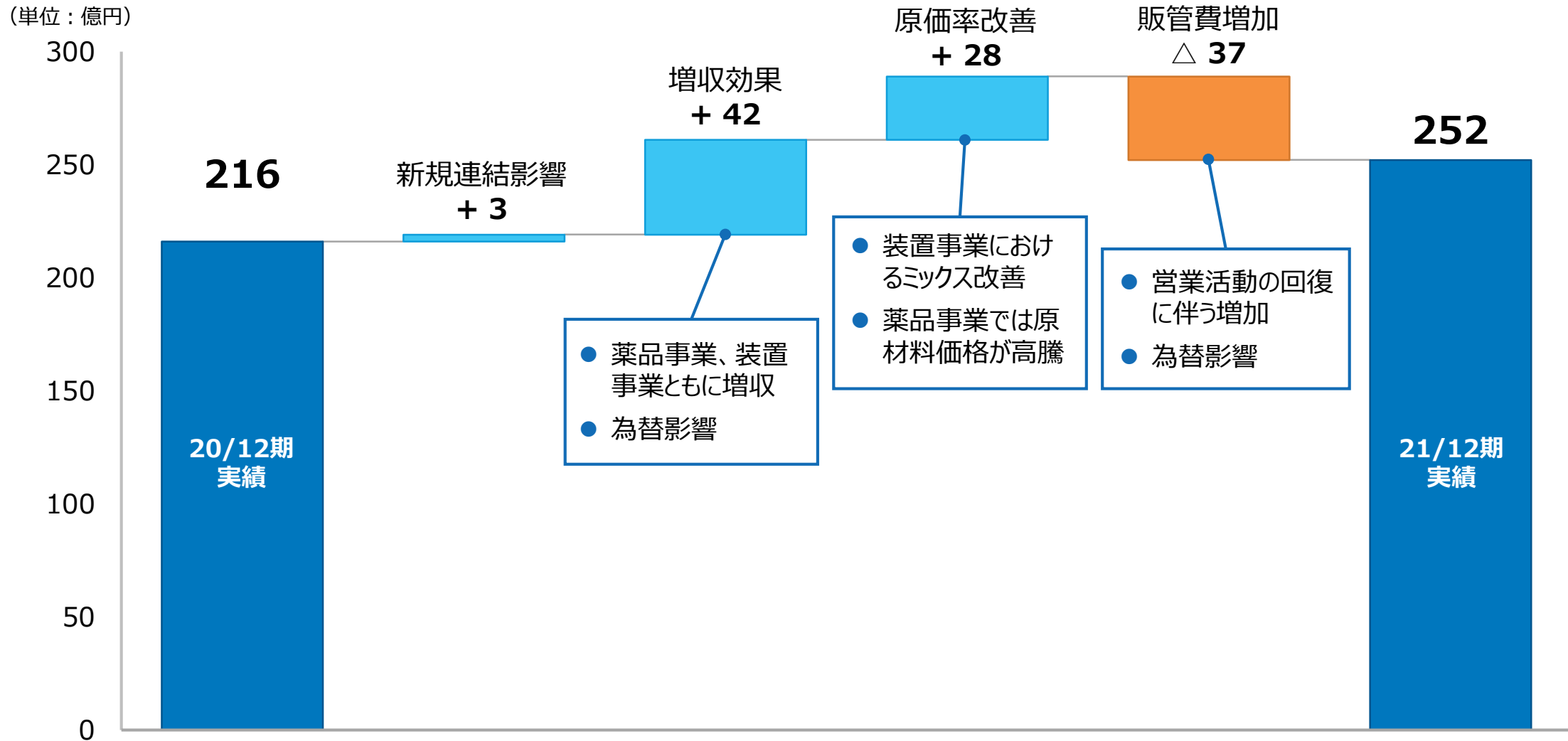
セグメント別の実績

(単位：億円)		2020/12期	2021/12期	前年同期比
全社	受注高	1,874	2,188	+ 314
	売上高	1,980	2,112	+ 132
	事業利益	216	252	+ 36
	事業利益率	10.9%	11.9%	+ 1.0pp
	営業利益	236	255	+ 19
水処理薬品事業	受注高	775	876	+ 101
	売上高	775	879	+ 103
	事業利益	97	108	+ 12
	事業利益率	12.5%	12.3%	△ 0.1pp
	営業利益	93	111	+ 18
水処理装置事業	受注高	1,099	1,312	+ 213
	売上高	1,205	1,234	+ 29
	事業利益	119	144	+ 24
	事業利益率	9.9%	11.7%	+ 1.8pp
	営業利益	143	144	+ 1

- 水処理薬品事業は主に海外での薬品需要の回復により増収増益。
- 水処理装置事業の受注高は、海外装置や国内外メンテナンス、精密洗浄の受注増により増加。
- 水処理装置事業の売上高は、国内一般産業向けで減収も、国内電子産業向けと海外が増収。
- 水処理装置事業の事業利益は、販管費増を原価率改善と増収効果が上回り、増益。

注) 前期に新規連結したペンタゴン・テクノロジーズ社のPPA確定により、2021年3月期9ヵ月実績を遡及修正しています。

事業利益の増減要因（前年同期比）



(単位：億円)	2020/12期	2021/12期	前年同期比
受注高	775	876	+ 101
国内	318	322	+ 4
海外	457	554	+ 97
売上高	775	879	+ 103
国内	318	325	+ 7
海外	457	554	+ 97
事業利益	97	108	+ 12
事業利益率	12.5%	12.3%	△ 0.1pp
営業利益	93	111	+ 18

- クリタ・アクアケミー社とキーテック・ウォーター・マネジメント社を新規連結。
- 国内は、生産活動の回復による薬品需要の戻りは見られるが、一部業種ではコロナ影響が残る。
- 海外は、薬品需要の回復に加え、新規連結影響や円安の進行もあり受注高・売上高が増加。
- 事業利益は、増収効果が販管費増と原価率悪化影響を上回り増益。

■ 海外地域別売上高

(単位：億円)	2020/12期	2021/12期	前年同期比
アジア	167	200	+ 33
北南米	152	174	+ 22
EMEA	138	180	+ 42
合計	457	554	+ 97

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 34
為替影響	+ 32
新規連結	+ 30

水処理装置事業（国内電子産業向け）



（単位：億円）	2020/12期	2021/12期	前年同期比
受注高	420	479	+ 59
装置	36	43	+ 8
メンテナンス	110	130	+ 20
超純水供給事業	210	232	+ 23
精密洗浄	64	73	+ 8
売上高	435	473	+ 37
装置	37	43	+ 6
メンテナンス	124	125	+ 1
超純水供給事業	210	232	+ 23
精密洗浄	64	72	+ 8

- 装置は、大型案件の受注と受注済み案件の工事進捗により、受注高・売上高ともに増加。
- メンテナンスは、顧客工場の堅調な稼働を背景に、受注高・売上高ともに増加。
- 超純水供給事業は、新たに供給を開始した案件の寄与により受注高・売上高ともに増加。
- 精密洗浄は、新規案件の獲得により受注高・売上高ともに増加。

水処理装置事業（国内一般産業向け）



（単位：億円）	2020/12期	2021/12期	前年同期比
受注高	359	374	+ 15
エネルギー・インフラ	313	323	+ 10
土壌浄化	26	30	+ 3
その他	20	21	+ 1
売上高	425	373	△ 52
エネルギー・インフラ	357	323	△ 33
土壌浄化	48	28	△ 20
その他	20	21	+ 1

- エネルギー・インフラの受注高は、電力向け装置で案件が減少するも、一般産業向けメンテナンスの需要回復により、増加。
- エネルギー・インフラの売上高は、電力向け装置や一般産業向け装置で大型案件の売上計上が一巡し、減収。
- 土壌浄化は受注高は増加も、売上高は前年同期に大型案件の売上計上があったことから減収。

水処理装置事業（海外）

（単位：億円）	2020/12期	2021/12期	前年同期比
受注高	320	459	+ 139
装置	131	205	+ 74
メンテナンス	82	120	+ 38
超純水供給事業	23	24	+ 2
精密洗浄	84	109	+ 25
売上高	345	389	+ 44
装置	158	147	△ 12
メンテナンス	80	108	+ 28
超純水供給事業	23	24	+ 2
精密洗浄	84	109	+ 25

- 中国では、受注高は大型案件の受注により前年同期比で増加し、売上高も増加。
- 韓国についても、大型案件の受注により、受注高・売上高ともに増加。
- 台湾では、受注高は増加も、売上高は受注済み案件の売上計上の一巡により減少。
- 米国では、主に精密洗浄事業が増加。

地域別売上高

（単位：億円）	2020/12期	2021/12期	前年同期比
アジア	200	223	+ 23
北南米他	145	165	+ 20
合計	345	389	+ 44

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 19
為替影響	+ 25

サービス事業売上高内訳

(単位：億円)	2020/12期	2021/12期	前年同期比
水処理薬品事業	775	879	+ 103
水処理装置事業	927	993	+ 66
超純水供給事業	232	257	+ 24
国内精密洗浄	64	72	+ 8
海外精密洗浄	84	109	+ 25
土壌浄化	48	28	△ 20
国内メンテナンス	403	403	△ 0
海外メンテナンス	80	108	+ 28
その他	16	16	+ 0
合計	1,702	1,872	+ 169

- 水処理薬品事業は、海外での薬品需要の回復により増収。
- 水処理装置事業は、精密洗浄や海外メンテナンス、超純水供給事業等の電子産業向けが増加。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2020/12期	2021/12期	前年同期比
設備投資額（有形*）	198	473	+ 275
水処理薬品事業	62	51	△ 11
水処理装置事業	136	422	+ 286
減価償却費（有形*）	131	147	+ 16
水処理薬品事業	29	29	△ 0
水処理装置事業	102	118	+ 16
研究開発費	38	38	△ 0
水処理薬品事業	13	12	△ 1
水処理装置事業	25	26	+ 1

* 使用権資産含む。

- 超純水供給事業の設備投資額は227億円で、前年同期に比べ増加。
- 上記以外では、主に国内の新開発拠点向けの投資により増加。
- 設備投資額、減価償却費、研究開発費ともに計画に沿った進捗。

財政状態

(単位：億円)	2021年3月末	2021年12月末	増減
現金及び現金同等物	622	503	△ 119
その他流動資産	1,143	1,287	+ 144
流動資産合計	1,765	1,790	+ 25
有形固定資産	1,176	1,516	+ 340
のれん	556	600	+ 44
その他非流動資産	752	669	△ 83
非流動資産合計	2,484	2,785	+ 301
資産合計	4,249	4,575	+ 326
流動負債	750	1,118	+ 368
非流動負債	921	795	△ 126
負債合計	1,671	1,913	+ 242
親会社の所有者に帰属する持分	2,531	2,605	+ 74
非支配持分	47	57	+ 10
資本合計	2,578	2,662	+ 84
負債及び資本合計	4,249	4,575	+ 326

- 超純水供給事業用設備の取得や新開発拠点の建設に伴い、有形固定資産が増加。
- クリタ・アクアケミー社とキーテック社の連結子会社化により、のれんが増加。
- 政策保有株式の売却により、その他非流動資産が減少。
- ペンタゴン・テクノロジーズ社の株式追加取得に係る負債を非流動負債から流動負債に振り替え。将来の取得価格の公正価値の見直しにより、同負債額が増加。

2 | 2022年3月期 通期見通し

業績見通しの概要

(単位：億円)		2021/3期 実績	2022/3期 見通し	前期比	前回見通し (10/29発表)
受	注 高	2,623	2,960	+ 12.8%	2,940
売	上 高	2,677	2,910	+ 8.7%	2,890
事	業 利 益	295	340	+ 15.4%	330
そ	の 他 の 収 支	21	0	—	△ 10
営	業 利 益	315	340	+ 7.8%	320
税	引 前 利 益	292	292	△ 0.5%	281
親会社の所有者に帰属する 当期利益		191	180	△ 5.7%	180
基本的1株当たり当期利益 (円)		169.94	160.19	△ 5.7%	160.19
為 替 レ ー ト	USD (円)	106.1	110.8		110.0
	EUR (円)	123.7	130.9		131.0
	CNY (円)	15.7	17.2		17.0

- 受注高・売上高・事業利益は、第3四半期実績を踏まえ上方修正。第4四半期に固定資産売却益を見込み、営業利益も上方修正。
- 税引前利益の修正には、ペンタゴン・テクノロジーズ社の将来取得予定株式の公正価値評価見直しに係る費用の追加発生を反映。

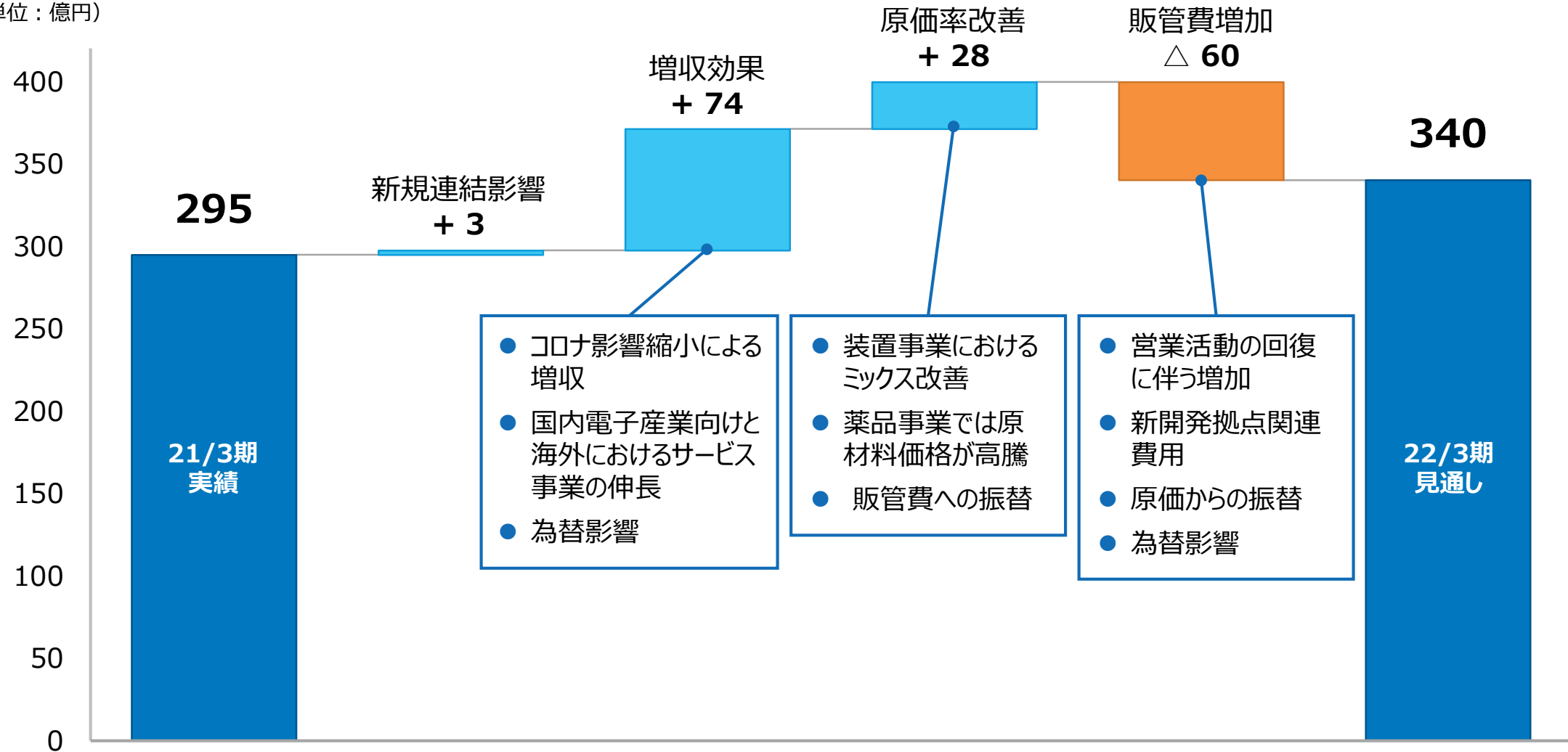
セグメント別の見通し

(単位：億円)		2021/3期 実績	2022/3期 見通し	前期比	前回見通し (10/29発表)
全社	受注高	2,623	2,960	+ 337	2,940
	売上高	2,677	2,910	+ 233	2,890
	事業利益	295	340	+ 45	330
	事業利益率	11.0%	11.7%	+ 0.7pp	11.4%
	営業利益	315	340	+ 25	320
水処理薬品 事業	受注高	1,036	1,174	+ 138	1,153
	売上高	1,032	1,173	+ 141	1,152
	事業利益	123	137	+ 14	137
	事業利益率	11.9%	11.7%	△ 0.2pp	11.9%
	営業利益	118	142	+ 24	131
水処理装置 事業	受注高	1,588	1,786	+ 198	1,787
	売上高	1,645	1,737	+ 92	1,738
	事業利益	171	203	+ 32	193
	事業利益率	10.4%	11.7%	+ 1.3pp	11.1%
	営業利益	196	198	+ 2	189

- 水処理薬品事業は、受注高・売上高を上方修正も事業利益は据え置き。
- 水処理装置事業の受注高・売上高は、国内電子産業向けと海外を上方修正するも、国内一般産業向けを下方修正し、全体では前回見通し並み。
- 水処理装置事業の事業利益は、原価率改善が想定を上回り、前回見通しを上方修正。

通期事業利益見通しの増減要因（前期比）

(単位：億円)



(単位：億円)	2021/3期 実績	2022/3期 見通し	前期比	前回見通し (10/29発表)
受注高	1,036	1,174	+ 138	1,153
国内	426	432	+ 6	439
海外	610	742	+ 132	714
売上高	1,032	1,173	+ 141	1,152
国内	422	431	+ 9	436
海外	610	742	+ 132	716
事業利益	123	137	+ 14	137
事業利益率	11.9%	11.7%	△ 0.2pp	11.9%
営業利益	118	142	+ 24	131

- 受注高・売上高は、第3四半期までの需要回復状況を踏まえ、国内は下方修正、海外は上方修正。
- 為替レート見直しに伴う売上高への影響は軽微。
- 事業利益は、原価率の悪化を増収効果でカバーし前回見通しを据え置き。

海外地域別売上高

(単位：億円)	2021/3期 実績	2022/3期 見通し	前期比	前回見通し (10/29発表)
アジア	225	272	+ 48	258
北南米	199	231	+ 32	227
EMEA	187	239	+ 52	231
合計	610	742	+ 132	716

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 56
為替影響	+ 37
新規連結	+ 39

水処理装置事業（国内電子産業向け）



（単位：億円）	2021/3期 実績	2022/3期 見通し	前期比	前回見通し （10/29発表）
受注高	604	651	+ 47	629
装置	66	62	△ 4	56
メンテナンス	170	183	+ 13	174
超純水供給事業	281	310	+ 29	306
精密洗浄	87	96	+ 9	93
売上高	589	651	+ 62	642
装置	57	70	+ 13	70
メンテナンス	165	176	+ 11	174
超純水供給事業	281	310	+ 29	306
精密洗浄	86	95	+ 10	92

- 顧客の旺盛な設備投資や高水準な工場稼働率を背景に、各事業で受注高・売上高を上方修正。

水処理装置事業（国内一般産業向け）



（単位：億円）	2021/3期 実績	2022/3期 見通し	前期比	前回見通し （10/29発表）
受注高	538	566	+ 27	593
エネルギー・インフラ	465	483	+ 18	504
土壌浄化	46	59	+ 13	69
その他	27	23	△ 4	20
売上高	602	544	△ 58	570
エネルギー・インフラ	503	470	△ 33	488
土壌浄化	72	50	△ 22	59
その他	27	23	△ 4	23

- エネルギー・インフラの受注高・売上高では、一般産業向けメンテナンスは需要回復が堅調に進み上方修正するも、電力向け装置と一般産業向け装置で案件の進捗状況を踏まえ下方修正。
- 土壌浄化は需要回復の遅れを反映し、受注高・売上高ともに下方修正。

水処理装置事業（海外）

（単位：億円）	2021/3期 実績	2022/3期 見通し	前期比	前回見通し （10/29発表）
受注高	446	569	+ 123	565
装置	193	254	+ 61	255
メンテナンス	109	138	+ 29	134
超純水供給事業	31	32	+ 2	32
精密洗浄	114	145	+ 32	144
売上高	454	542	+ 88	526
装置	202	225	+ 23	219
メンテナンス	108	140	+ 32	131
超純水供給事業	31	32	+ 2	32
精密洗浄	114	145	+ 32	144

- 電子産業の旺盛な投資環境は変わらず、受注高・売上高ともに上方修正。
- 中国は、一部案件の延期により受注高を下方修正も、売上高は前回見通し並み。
- 韓国は、大型案件の受注増により、受注高・売上高ともに上方修正。
- 台湾は、受注高・売上高ともに前回見通し並み。
- 米国は、第3四半期までの案件の獲得状況を踏まえ、上方修正。

地域別売上高

（単位：億円）	2021/3期 実績	2022/3期 見通し	前期比	前回見通し （10/29発表）
アジア	261	316	+ 55	307
北南米他	193	226	+ 33	219
合計	454	542	+ 88	526

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 58
為替影響	+ 30

サービス事業売上高内訳

(単位：億円)	2021/3期 実績	2022/3期 見通し	前期比	前回見通し (10/29発表)
水処理薬品事業	1,032	1,173	+ 141	1,152
水処理装置事業	1,253	1,374	+ 121	1,358
超純水供給事業	312	342	+ 30	338
国内精密洗浄	86	95	+ 10	92
海外精密洗浄	114	145	+ 32	144
土壌浄化	72	50	△ 22	59
国内メンテナンス	540	578	+ 39	570
海外メンテナンス	108	140	+ 32	131
その他	22	23	+ 1	23
合計	2,285	2,547	+ 262	2,510

- 土壌浄化を除く各事業で、売上高を上方修正。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2021/3期 実績	2022/3期 見通し	前期比	前回見通し (10/29発表)
設備投資額（有形*）	326	634	+ 307	634
減価償却費（有形*）	179	197	+ 18	197
水処理薬品事業	39	41	+ 2	41
水処理装置事業	140	156	+ 16	156
研究開発費	53	52	△ 1	52
水処理薬品事業	17	16	△ 1	16
水処理装置事業	36	37	+ 1	37

* 使用権資産含む。

- 設備投資額、減価償却費、研究開発費ともに前回見通しから変更なし。
- 超純水供給事業向けの設備投資額の見通しも、前回見通しの326億円から変更なし。

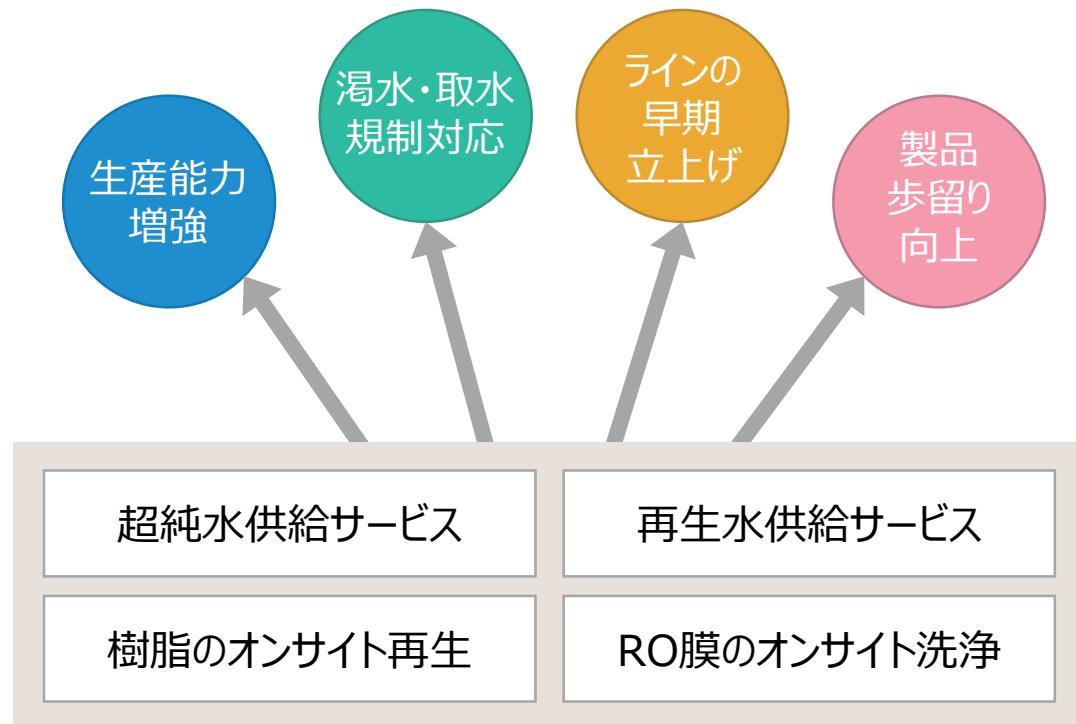
3 | 重点施策の進捗

社会と顧客の課題の変化が新たなサービスを生む

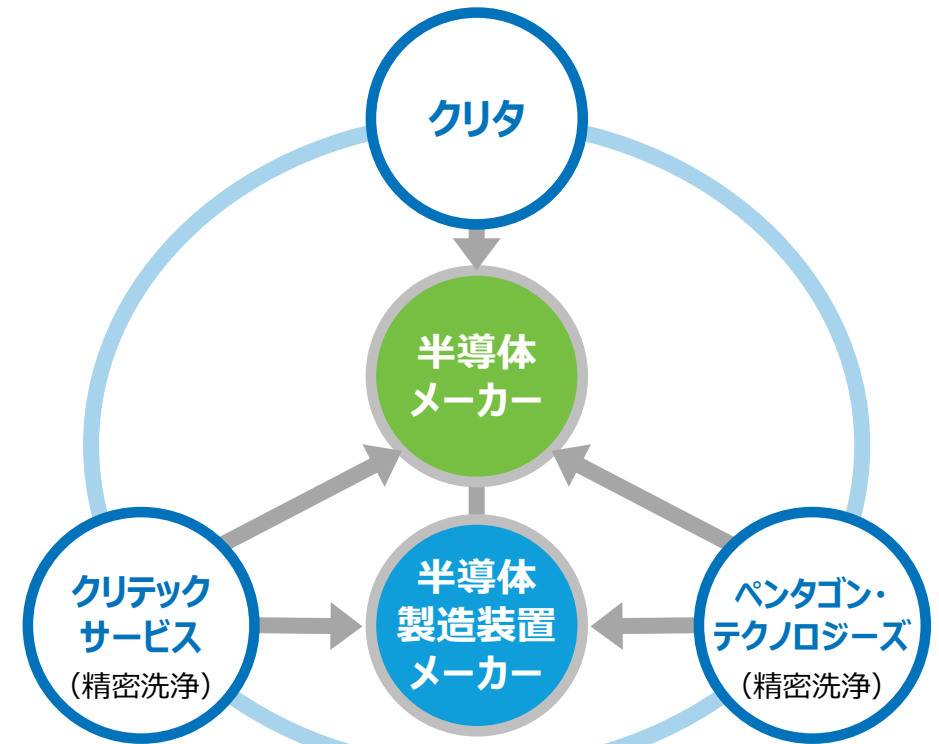
	電子産業市場	一般産業市場	
		社会・産業インフラ市場	その他市場
事業環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 半導体・電子部品の需要拡大 ● 各地域で半導体製造能力増強の動き ● 関連するサプライチェーンが社会インフラ化 	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギーの低炭素化や環境負荷の低い素材への転換要請 	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーン全体での環境負荷低減への要請 ● 一部の市場（ビル空調、食品・飲料など）ではコロナ禍からの需要回復に遅れ
市場の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 各地域における投資状況や環境規制への対応 ● 高純度かつ大量の水の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働人口の減少、設備老朽化 ● 資源枯渇、原料品質の悪化 ● 製造手法、プロセスの変化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働人口の減少、高齢化 ● コスト抑制

サービス事業の強化による成長市場の取り込み

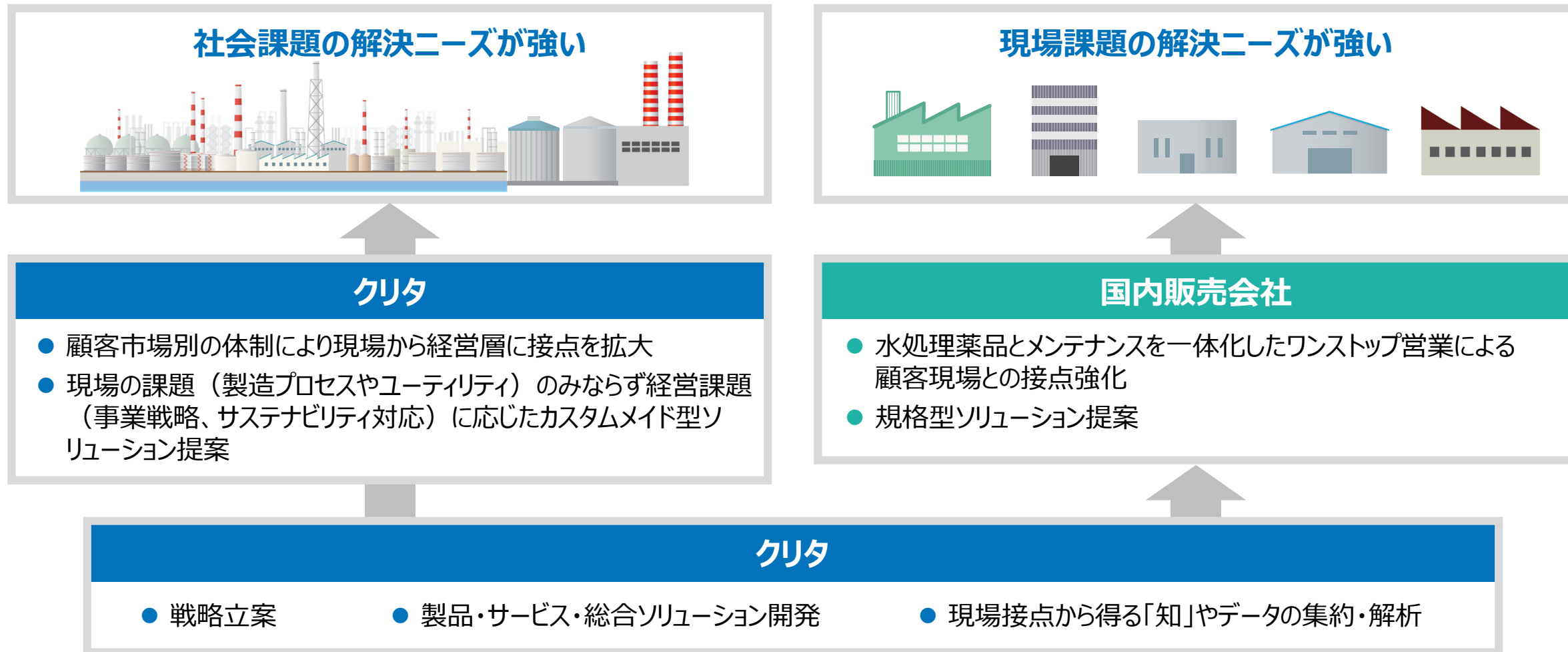
事業継続に資するソリューションの展開



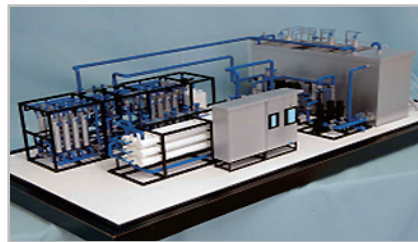
グループシナジー（技術、ノウハウ、顧客基盤）を活用した新規顧客の獲得



課題とニーズに対応した最適な体制とソリューションを提供



CORR（再生水供給サービス）

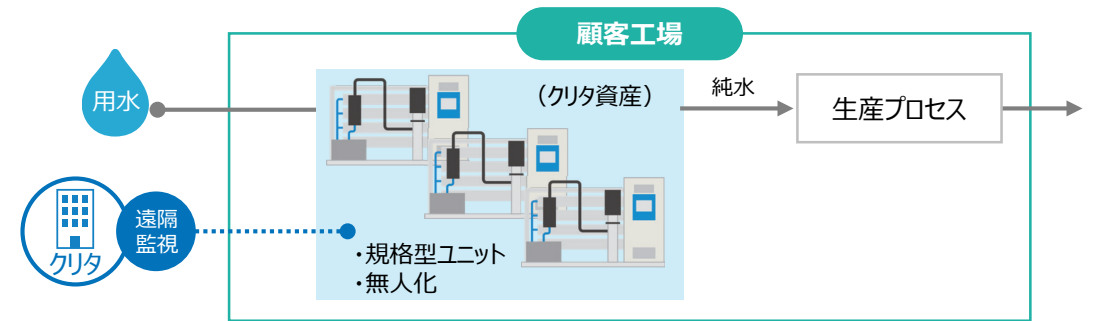


コンテナ型による
低コスト化、短納期化



低コスト化による競争力向上

KWSS（純水供給サービス）



早期の能力増強を実現

Kurita Dropwise Technology（滴状凝縮技術）



化学

製紙

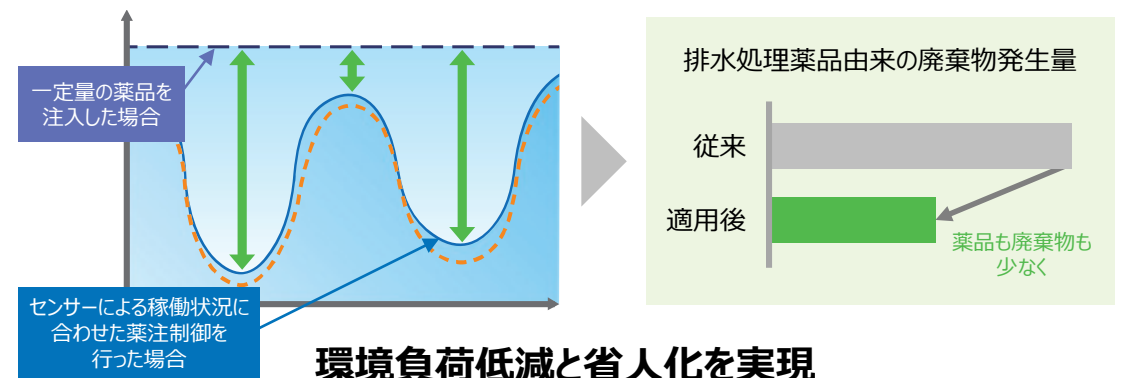
鉄鋼

食品

...

幅広い業種へ適用拡大

凝集センサーによる排水処理3Sソリューション



環境負荷低減と省人化を実現

多様なステークホルダーとの交流・協働を通して、イノベーションを創出





将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している商標（製品、サービス、ロゴ）は、当社または当社に使用を認めた権利者に帰属します。